

予算決算委員会会議記録

1. 日 時	令和3年10月28日(木) 9時28分開会 令和3年10月28日(木) 11時05分閉会
2. 場 所	全員協議会室
3. 出席議員	園田依子、安井博幸、原田豊彦、前田えり子、上田英樹、隅田雅春、足立義則、向井千尋、大西基雄、栗山泰三、渡辺拓道、大上和則、小島政行、森本富夫
<p>9. 協議事項</p> <p>認定第 1号 令和2年度丹波篠山市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 2号 令和2年度丹波篠山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 3号 令和2年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 4号 令和2年度丹波篠山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について</p> <p>認定第 5号 令和2年度丹波篠山市水道事業会計決算認定について</p> <p>認定第 6号 令和2年度丹波篠山市下水道事業会計決算認定について</p>	
<p>10. 議事の経過</p> <p>9:28 開会</p> <p>園田委員長 挨拶</p> <p>園田委員長 開議宣告</p> <p><b>総務文教分科会座長報告</b></p> <p>■認定第 1号 令和2年度丹波篠山市一般会計歳入歳出決算認定について 渡辺座長より報告(別添資料参照)後、質疑応答。 —質疑なし—</p> <p><b>民生福祉分科会座長報告</b></p> <p>■認定第 1号 令和2年度丹波篠山市一般会計歳入歳出決算認定について</p> <p>■認定第 2号 令和2年度丹波篠山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について</p>	

■認定第 3号 令和2年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定  
について

■認定第 4号 令和2年度丹波篠山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定につい  
て

向井座長より報告後、質疑応答。

<主な質疑応答等>

隅田委員 一般公害対策費について、予備費を使ってこの事業をされたとのことですが、災害等の緊急事態ということであれば予備費を使うということは理解できるのですが、当市では通年議会を導入しています。今の説明でも臭気対策のモニタリングを1年にわたってしなければならない、また業者に委託しなければならないということに対して予備費を使うことに対する議論というのはどのようなものがあったのでしょうか。

向井座長 この件に関しては、渡辺議員からも事前に審査についての依頼をいただいておりますので、民生福祉分科会としても慎重に審査したところではあります。当局側からも今も先ほど説明したとおり、臭気測定の2か所の事例について大変詳しく説明を受けました。隅田委員が言われたような議論にはなっていないのですが、当局側の説明の中では、昨年度は二つの事例について、臭気測定であったり、コンサルタントへの委託であったりということが、随時、続いた状況だったという説明を受けています。

園田委員 そうしたら分科会としては、そういう事業に予備費を使うということに疑問を感じられなかったという認識でいいのでしょうか。

向井座長 先ほどの報告の中で申し上げましたが、今回の事例に関しては、あらかじめ決まった日ではなく、住民の方から今日は臭いがしますよということで調整されて、それで緊急かつ、やむを得ないということで予備費にて対応されたということを分科会の中で確認しています。

隅田委員 災害などの単発的な緊急の事態は致し方ないと思いますが、業者に委託をして1年間にわたってモニタリングを行うというような説明を聞きましたので、そういう1年にわたって行うような事業に予備費を適用することに分科会としては何ら問題意識なかったのかなということを感じました。ただ緊急事態で今すごい臭気が出ているというような単発的なことに対する動きについては、私は致し方ないかなと思ったりしますが、その辺りの認識が分科会としてどうだったのかなと思った次第で

向井座長

す。

当局側からは、桑原地内と大山地内という2か所の臭気測定とかコンサルティング料という予想していないことが発生したということで、令和2年度はやむを得なかった。令和3年度に関しては計画的に行っていくという説明でした。結果として1年という形になったということなので分科会としてはやむを得ないことであるのかなと判断をしています。

渡辺委員

一般公害対策費について、審査をよろしく願いますということでお願いしました。議事録を拝見させていただくと丁寧に審査をいただいたようで、どうもありがとうございます。予備費対応については、当初予算が去年の7月時点ではもうなくなっているはずなんです。それから去年はコロナの関係で本会議等を開く機会も結構あったので、通年議会を導入している本市議会としては、やっぱりそこにきっちりを出して欲しかったなど、それがやっぱり筋であるなというような思いから確認をお願いしたところなんです。座長に確認をしたいのは、認定に当たって、令和2年度の執行について、当局側が課題を持ってるのか持っていないのかということ、非常に気にしてまして、やっぱり改善してもらわないといけないと思っています。会議録を見ると令和2年度の反省に立って令和3年度は計画的にやっていると載っていますけれども、まず、そのような発言があったということは間違いないのかということだけ確認をさせていただき。

向井座長

間違いはありません。

渡辺委員

関連でもう1点だけですが、この議事録の中に氏名公表を行っていくことを検討するのに影響調査する必要があるというようなことで企業信用調査を行ったとあり、それに予備費を支出したということですけども、これまでの氏名公表に関する事務のスキームの説明で、氏名公表の前段に影響調査するために信用調査を実施するというような説明は受けたことはなかったのですけども、今、市は氏名公表に至るまでのステップとして企業信用調査をしてからでないと公表しないというようなスキームになってるのか。その辺りについての確認はあったでしょうか。

向井座長

そのような議論はしておりません。

安井副委員長

社会福祉課の担当のことだと思いますが、東吹に遊び村というのがあります、それは市の補助金を受けて事業されていると思います。市民の方からその会計報告がずさんだという話を聞いて、市の担当へ言ったことがあります。それについて今回の決算報告では何か話題とか議論とかにはなりませんでしたでしょうか。

向井座長

そのような質疑答弁はありませんでした。

#### 産業建設分科会座長報告

■認定第 1号 令和2年度丹波篠山市一般会計歳入歳出決算認定について

■認定第 5号 令和2年度丹波篠山市水道事業会計決算認定について

■認定第 6号 令和2年度丹波篠山市下水道事業会計決算認定について

栗山座長より報告（別添資料参照）後、質疑応答。

<主な質疑応答等>

隅田委員

特産物振興事業に関し、丹波篠山市場への補助の件ですが、事業者がたてられた計画の73%の売り上げであったという報告ですが、去年3、4月からこの1年半は、新型コロナの影響で、飲食業、観光業は多大なる影響を受けています。新型コロナの影響、コロナ禍の影響があるというところの説明、議論はあったのでしょうか。

栗山座長

当局からは、そもそもの計画が高過ぎたのか、あるいはコロナの影響が出て目標に到達していないのかはわからないが、事業者の立てた計画には到達していないとの答弁でした。

安井副委員長

丹波篠山の家の推進事業ですが、総務文教常任委員会でも現地調査を行いました。モデルハウスであるという案内表示がなかったように思っています。モデルハウスにとして活用するのであれば、案内表示等に力を入れたほうがいいのではないかと感じたのですが、分科会でそのような議論はなかったのでしょうか。

栗山座長

案内看板等の議論はありませんでした。

#### ■議員間討議

園田委員長

討論、表決に入る前に、全体を通して何か意見はありませんか。

隅田委員

民生福祉分科会の一般公害対策費の予備費の使い方ですが、緊急事態、大災害とかいったことであれば、私はいいと思うのですが、何となく1年通じて予備費を使用し、反省のもとに令和3年度は計画的に予算執行しているという説明だったと思うのですが、通年議会を導入しておりますので、このようにただただ予備費を使用するのはおかしいのではないかとこのように思うのですが。そこは問題提起したいと思います。

園田委員長

隅田委員からの意見がありますが、他意見はありませんか。

渡辺委員	今の隅田委員の意見に賛同しています。
園田委員長	先ほどの民生福祉分科会への座長報告の中では、特に委員会の中で問題視されるようなことはなかったという報告でしたが、どうでしたか。
向井座長	先ほどの質疑の中でもお話したとおりなのですが、委員会の中では、当局の説明の中で今回やむを得ない状況であったのかなというように判断しています。令和3年度においては、計画どおり実施していきますということなので、令和3年度の状況を委員会としては注視していきたいと思っておりますので、そのような委員会の判断を認めていただけたらと思います。
隅田委員	決算認定をしないとかそういうことではなく、いわゆる議員の共通認識として、本市議会は通年議会を導入して極力予備費的なものを市長の判断で使わせない。議会の議決を経て、使っていただくといったふうなルールになっておると思います。天災が起こったとか、緊急を要する場合については致し方ありませんが、公害調査を何回もする必要があったという事ですが、2週間もあれば臨時議会も開催できるでしょうし、渡辺委員の先の発言では9月議会に上程されてもよかったのではないかという話もありましたし、他の委員会においても、やむを得ない場合は予備費を認めるけども、これが本当にやむを得ないような事案だったのかなということを私は問題提起したのでありまして、他の委員会においても極力予備費というものは利用しない、議会の議決を経て利用していただくという基本原則を確認しておきたいということでございます。
園田委員長	このような隅田委員の意見もありますけども、これに対して意見はありますか。
上田委員	まず予備費の利用は、緊急かつやむを得ない場合に利用するものということは理解をしております。そして予備費というのは、当初予算で認められた予算の枠でもあるというその2点が予備費という考え方であると認識しています。先ほどの座長報告でありましたが、当局の答弁としては、結果として1年を続いて臭気測定によるモニタリングが必要ということでした。先ほど、9月議会という意見もありましたけども、桑原地内につきましては、8月に基準値を超えるアンモニアが計測されております。特に臭気測定につきましては、日により温度、気候、そして養鶏場につ

きましては、鶏糞のあるなしによって大分変わってきますので、この日はにおうという日に臭気測定をする必要があったと思っています。もう1点の今回の大きな予備費の支出は、桑原地内の臭気測定、そして大山新地内の工場の臭気測定、そして、あと環境保全に係る大山の工場の委託料200万等が大きな要因です。これにつきましては、決算説明資料にも書いてありますけれども、法令による規制基準を超過したため改善勧告、命令の発令が行われたと。しかしながら早急に対応する必要があるということになっています。先ほど民生福祉分科会の座長報告で申し上げたように、結果として1年を通じて臭気測定によるモニタリングが必要ということになったのですが、その日、現象が起きた際に対応しなければならないということで今回の予備費の使用については仕方なかったかなというように私は考えます。

園田委員長  
安井副委員長

このような御意見もありますけれども、他にありませんか。

上田委員のおっしゃることもわかりますけれども、隅田委員の言われていることが正論だと私は思います。やはり原則としては、予備費は極力抑えていただく、議会を通して決まったことを、予算執行していただくというのが筋ですから、やはりそれは隅田委員の言われたように、議会としては執行部に申入れてよろしいのではないかと思いますけど。

小島委員

民生福祉分科会で議論させていただきました。ただ当局からの説明の中で、改善勧告、また改善命令を発出したが真摯に対応していただけなかったと、そういう状況が続いた結果、緊急というところをそういう観点でとらえますと、臨議会等での予算計上ではなく、予備費で対応したというように私たちは受け取りました。

園田委員長  
足立委員

ほかに御意見ございませんか。

今の話聞いてまして、決算認定ですからいわゆる事業執行後の話をしているのですが、隅田委員の言われた話は全くもったもな話です。もしも、市長に総括質問を委員長がされても、恐らく回答は、今までの質疑からみても大体想像がつく範囲なんです。認定する時に、今隅田委員がおっしゃったことは確かに理解できるところがたくさんありましたので、皆さん総意であるならば、附帯決議という形も考えていただいたらと思います。市長質問しても多分答えは、大体皆さんの頭の中に出来てきてるんじゃ

ないかなと思うんですけど。

園田委員長

他に意見ありませんか。民生分科会の座長報告は、賛成多数であったと報告をされてきました。また、市長質問をするにあたっては、この委員会での総意が必要になってきます。予備費の使い方に対しては、しっかりと市としても考えて執行していただかなければならないと思いますので、附帯決議等に類したような形で、委員長報告の中に盛り込んで報告をさせていただければと思います。この方向でさせていただいてもよろしいか確認させていただきます。

異議なし

園田委員長

それでは、その方向で進めさせていただきます。今回は、市長質問への確認質問を行いませんので、ここで一旦休憩といたします。再開を11時5分といたします。

休憩（10：45～11：01）

#### ■表決

- |        |  |
|--------|--|
| 認定第 1号 | 令和2年度丹波篠山市一般会計歳入歳出決算認定について                         |
| 認定第 2号 | 令和2年度丹波篠山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について                   |
| 認定第 3号 | 令和2年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について                  |
| 認定第 4号 | 令和2年度丹波篠山市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について<br>— 討論なし・賛成多数で可決 — |
| 認定第 5号 | 令和2年度丹波篠山市水道事業会計決算認定について                           |
| 認定第 6号 | 令和2年度丹波篠山市下水道事業会計決算認定について<br>— 討論なし・全員賛成で可決 —      |

園田委員長

以上で、当委員会に付託された案件はすべて議了しました。なお、委員会の審査報告については、委員長に一任願いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

— 異議なし —

園田委員長

本日の会議記録については、事務局に調製させ、委員長、副委員長において内容確認を行いたいが、これに一任願いたいと思いますが、

よろしいでしょうか。

— 異議なし —

安井副委員長 挨拶

11:05 閉会